

学校教育目標

「よく学び よく遊び やさしく強く」

現状分析

知

- ・「課題発見・解決学習」の授業づくりを行う中で、児童は主体的に学び、自分の考えを深めようとしている。
- ・児童は自分の考えをもつことができるようになってきた。今後は児童同士の双方向のやり取りを充実させることで、思考する力をさらに深めさせていく必要がある。
- ・児童は読書することに楽しさを覚え始め、家庭で読書する習慣が定着し始めている。

徳

- ・「美しいあいさつ」を目指してあいさつ運動などに取り組み、一定の成果があった。学校外や地域でのあいさつには課題がある。
- ・気持ちのよい「返事」への取組は、声が小さいなどの課題がある。
- ・掃除は「時間いっぱい協力して いねいに」を目指し、掃除道具を正しく使って掃除をしてきた。
- ・靴箱の靴は揃うようになってきたが、様々な片付けは十分とは言えない。

体

- ・遊びの紹介をすることで、遊びの種類が広がり、外遊びをする児童は微増した。
- ・ロング昼休憩で仲間や教師と共に運動し、外遊びのよい機会となった。
- ・無遅刻・無欠席児童を掲示や放送で紹介することにより、登校への意識は高まっている。
- ・朝食指導を実施し、保護者への啓発を行った。また、宿泊行事においても食事指導を行った結果、効果を上げている。

本年度重点目標

知

- ・主体的な学びの場の工夫、改善
- ・思考力を深める授業づくり
- ・読書活動への取組

徳

- ・自他の良さを認め合う「よいところ見つけ」
- ・美しいあいさつ・返事・靴そろえ

体

- ・基本的生活習慣の定着



評価項目・指標

知

- ・保護者・地域参加型の授業の実施
- ・各種調査問題【活用問題】
「全国学力・学習状況調査」
「『基礎・基本』定着状況調査」
「海田町標準学力調査」における正答率
- ・学校アンケートの肯定的評価の割合
- ・読書に親しむ児童の割合

徳

- ・あいさつ・返事についての肯定的評価の割合
- ・ことばづかいについての肯定的評価の割合
- ・評価カード

体

- ・無遅刻・無欠席児童の割合